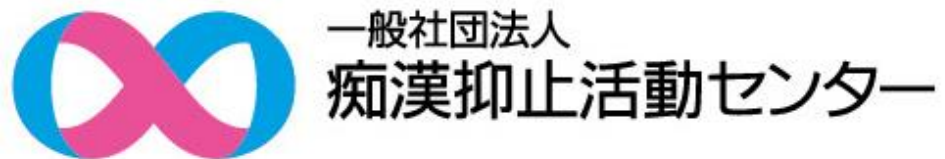

年次報告 2018



目次

- 活動に対する思い
- ご挨拶
- 私たちが目指す社会
- 事業報告

痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018

啓発・啓蒙活動

痴漢抑止バッジ販売

- 会計報告
- 活動を広げるために

100年続く電車内痴漢犯罪から子どもを守るのは、
私たち、大人の責任です

ご挨拶

2018年度の流行語大賞に #Metoo がベスト10入りしました。日本では、海外ほど大きなムーブメントが起きていないと言われていますが、声をあげる被害者は、確実に増えてきています。

4月には新聞社の記者が財務省次官から受けたセクハラを告発しました。有名写真家の元モデル、現役のタレント、グラビアアイドル、舞台女優、人気ブロガーからの告発がありました。#Metooの動きに後押しされ、「今だかから言える(ようになった)」という声が続いたのです。

こうした告発に対し、加害者側のコメントは耳を疑うようなものがありました。

財務省がセクハラ被害者に対し名乗りでることを呼びかけ、麻生財務大臣は「セクハラ罪はない」と公言したのです。当然、大きな批判が occurred しました。



けれど、ネット上では他のセクハラ事案でも告発者を批判・侮辱する書き込みは多数見受けられました。セクハラ告発が増えることにより、未だセクハラに対する無理解が蔓延していることが明らかになりました。

こうした状況に一石を投じ社会の認識を変えていくためには、行政と連動し教育の側面からアプローチするのが有効であると私達は考えました。

10月に大阪府教育庁を訪問し、電車内で多発する痴漢犯罪で多くの女子高校生が被害にあっていることを訴え、学校で防犯教育・人権教育を行ってほしいと要望を伝えました。この件は府議会本会議の一般質問でも取りあげられ、教育長から次年度に教職員を対象とした防犯教室で、防止策や被害にあった生徒の精神的なケアの方法を盛り込むと回答を得ました。

当センターも、痴漢抑止バッジの普及と並行し、高校の生徒指導にあたる先生方と意見交流をもち、弁護士のアドバイスも受けながら、中高校生を対象とした痴漢防止講座のカリキュラム開発に取り組んでまいります。

今後も、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

一般社団法人痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生

私たちが目指す社会

活動概要図

子どもを性犯罪から守る社会を、産官学民連携で実現



子どもを性犯罪から守る社会を、産官学民連携で実現

私たちは、電車内痴漢犯罪を解決するために社会の性犯罪に対する意識を変える必要があると考えています。従来のように痴漢犯罪を「加害者と被害者の問題」と捉えたままでは、解決の道は見つかりません。被害者に声を出す勇気を求めるのではなく、「痴漢犯罪を許さない」意識を各人が持ち、学校、企業、警察、電鉄会社と一緒に社会の意識を変えていく必要があります。

そのために当会は活動の軸に「痴漢抑止バッジデザインコンテスト」を設けています。

第4回目を迎えた「痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018」では、全国33都道府県の178校から731作品の応募がありました。審査には、中高生を中心に705名の参加しています。

痴漢被害にあっても、保護者や教師に相談できずにいる子どもが大勢います。日頃から、性の問題についてオープンに、真剣に話しをする関係性がないためだと考えられます。

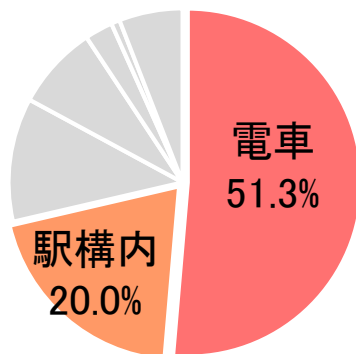
コンテストの参加が痴漢被害について考えるきっかけとなり、防犯教育の入り口となることを私達は望んでおります。今後も協力校を増やし、オープンな場で痴漢犯罪の問題点について語る文化を育て、犯罪抑止・防犯に繋げてゆきます。

12月にはOsakaMetro 駅構内ローソン41店舗が、企業理念に基づき「痴漢抑止バッジ」の取り扱いを開始しました。徐々にではありますが、確実に当センターの活動の輪が広がってきています。子どもを性犯罪から守る社会を、産官学民連携で実現を目指します。

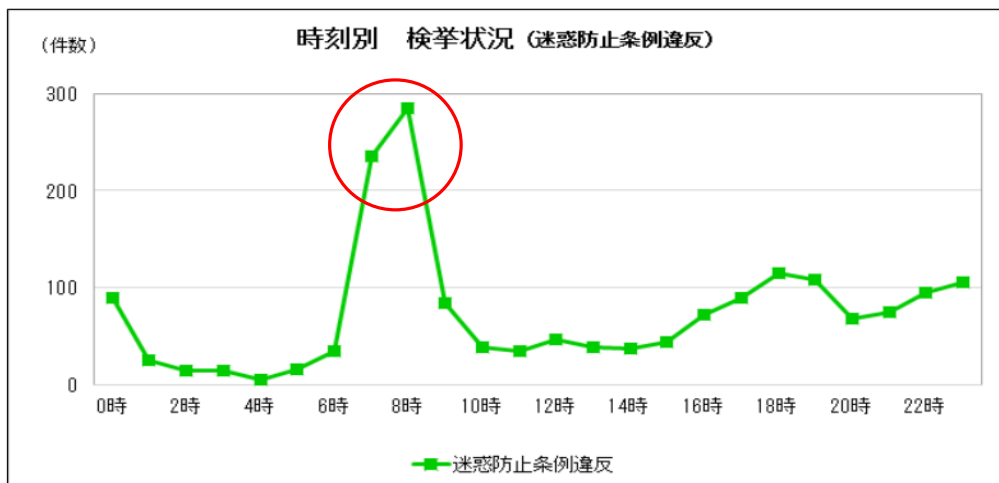
■参考資料:痴漢(迷惑防止条例)

下記のグラフから、登下校の時間帯に駅構内・電車内において、10～20代の女性が、痴漢被害にあっていることがわかります。グラフの数字を見ると、20代が一番多く被害にあっていると思うかもしれませんが、1人で電車に乗るのは、高校に入学以降が大半です。10代と20代では、母数が違うことに留意が必要です。

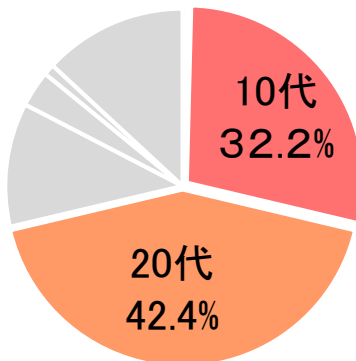
痴漢(迷惑防止条例)発生場所



痴漢(迷惑防止条例)発生時刻



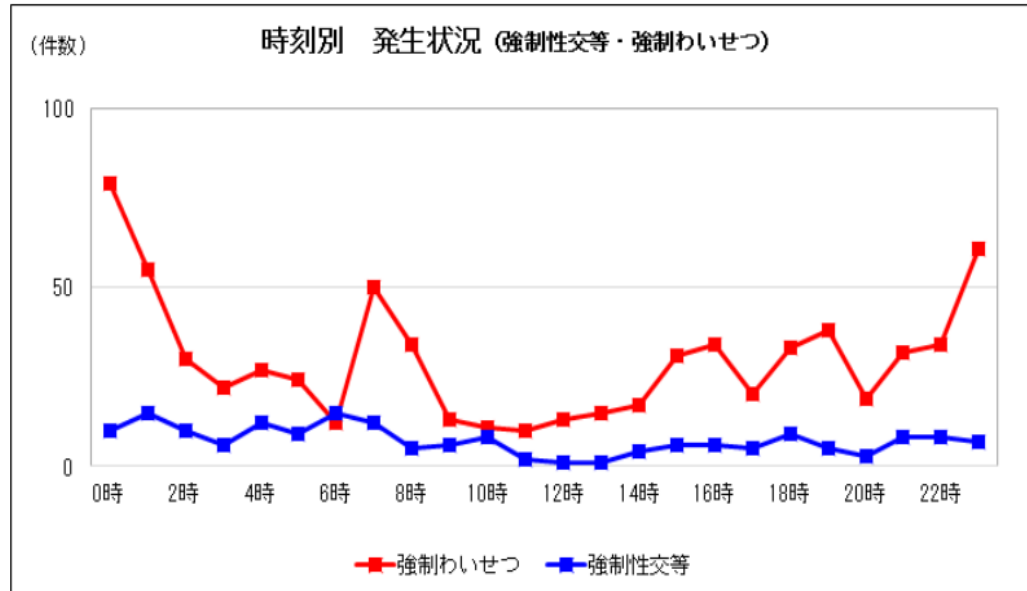
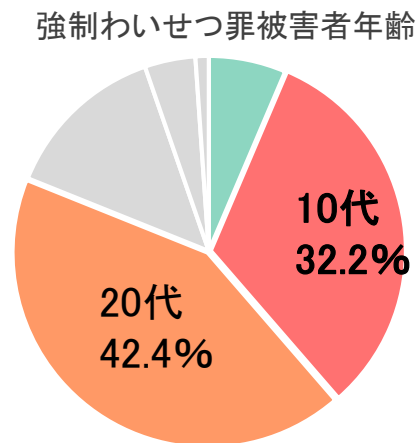
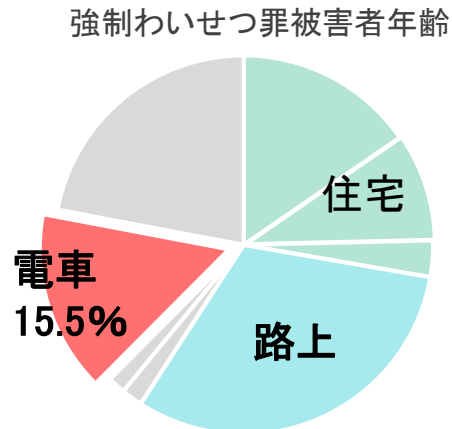
痴漢(迷惑防止条例)被害者年齢



出典: 警視庁「こんな時間、場所が狙われる」(2018年3月7日)より
<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>

■参考資料:強制わいせつ罪

スカートや下着の中に触れたりする場合、強制わいせつ罪が適用されます。住宅、路上に次いで、電車で強制わいせつ罪が発生している点に注目してください。



出典:警視庁「こんな時間、場所が狙われる」(2018年3月7日)より
<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>

1) 学生のデザイン

被害者に受け入れられるツール作成

2) 流通の力

「痴漢抑止バッジ」の普及

3) 教育の力

社会の意識を変える

事業報告

痴漢抑止バッジ デザインコンテスト2018

痴漢抑止バッジ
デザインコンテスト2018

募集期間

2018.8.1(水)
→9.10(月)

作品募集!



痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018

学生対象のデザインコンテスト

全国33都道府県の178校から731作品の応募

募集期間: 2018年8月1日～9月10日

最優秀賞(賞金5万円)

東洋美術専門学校

山本 千春さん

痴漢が一番ドキッとするものは、警察官だと思ったので、警察官のイラストを入れたいと思いました。警察官のイラストが入っても女子高生が抵抗なくバッジをつけられる様に、ポージングや表情をゆるく書くことを意識しました。また、ピンクの色遣いでぱっと見かわいいですが、太くしっかりした文字を使い、痴漢を許さない強い意思を表現しました。

女子高生からは可愛く見えて、痴漢からはドキッとするようなデザインを意識しました。

優秀賞(賞金2万円): 沖縄県立芸術大学 TAIGAさん ●○○○○

優秀賞(賞金2万円): 麻生情報ビジネス専門学校北九州校 島本さやかさん ○●○○○

審査員特別賞「キタイミコト賞」(賞金1万円): 宮城県立佐土原高等学校 山口泉香さん ○○●○○

審査員特別賞「たか子賞」(賞金1万円): 学校法人美専学園北海道芸術デザイン専門学校 河内紗季さん ○○○●○

OsakaMetro日本橋管区駅賞(賞金1万円): 学校法人東京町田学園町田・デザイン専門学校 TakenakaYusukeさん ○○○○●



コンテストの告知・広報

ポスター掲示

7月末～9月10日 Osaka Metro駅構内 170枚



一次審査 各地の大学生などの投票をもとに60作品選出

応募総数731作品から各地の女子大学生7名に投票していただきました。

投票結果を参照し、審査委員会が60作品を選出いたしました。



二次審査 中学生・高校生のアンケートで12作品選出



大阪市立南港南中学校



浦和麗明高等学校

中高校生153名に予備審査結果の60作品の中から、好きな作品に投票していただきました。

投票結果を参照し、審査委員会が12作品を選出いたしました。

大阪市立南港南中学校

浦和麗明高等学校

芦屋学園中学・高等学校

松蔭女子学院 松蔭中学校・高等学校

大阪府立港高等学校

兵庫県立三木高校

一般投票 近鉄百貨店 あべのハルカス 5階 縁活ウォールギャラリー



開催日: 2018年11月7日～28日
会場: 近鉄百貨店 あべのハルカス
縁活ウォールギャラリー

投票数 あべのハルカス投票: 23票 WEB投票: 522票

少女たちが痴漢被害にあっている現実を知っていただくために、多くの方が買い物を楽しむ百貨店内にあるウォールギャラリーとWEBで、2次審査を実施いたしました(投票は、18日まで)。

会場にポストを設置し、バッジを選んで投票していただきました。

「痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018」 受賞式



2018年12月8日(土)東京ミッドタウンデザインハブ内
インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターにて実施

啓発・啓蒙活動

大阪府教育庁に要請

2018年10月4日

吉村 善美府議会議員の同席で大阪府教育長を訪問し、通学電車内で痴漢が多発し、高校生が被害にあっている現状を伝え、学校で防犯教育に力を注いでほしいと要望を伝えました。



関連イベント

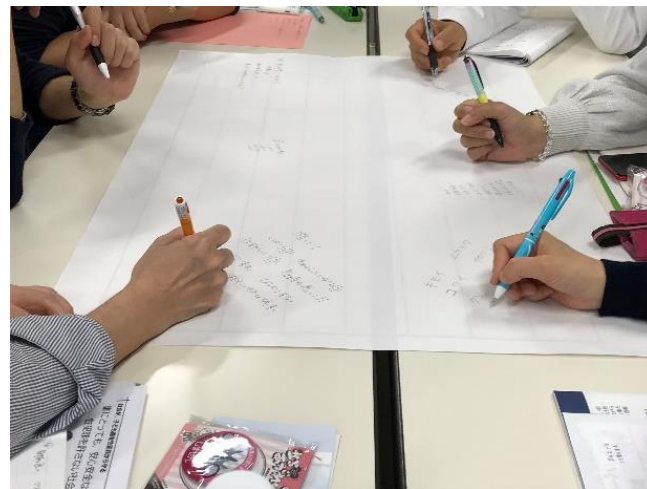
2018年10月28日

社会を変えるデザイン～性暴力を抑止する「Stop痴漢バッジプロジェクト」～

主催：東京ウィメンズプラザ「ウィメンズプラザフォーラム」

企画：しあわせなみだ

参加者：20名



関連イベント

2018年11月6日

大阪府高等学校生活指導研究会
第4回総会



2018年11月17日

第10回ソーシャルビジネスプランコンペ
(プレゼンターとして参加)



メディア掲載リスト

2018/1/1	女性チャレンジ応援拠点(事例紹介)	男女共同参画情報誌クレオ
2018/2/5	生きづらさを仕事に変えた社会起業家	AERA
2018/2/9	痴漢は犯罪です/metoo	毎日新聞
2018/2/22	事例発表会	大阪府よろず支援拠点
2018/3/31	平成29年度活動報告・支援事例集	大阪府よろず支援拠点
2018/6/1	痴漢大国ニッポン:「社会問題」として考える痴漢	Ridilover
2018/6/16	繰り返し起きる「痴漢撲滅ポスター」への批判 “思い”が込められていても伝わらなければ意味がない	WEZZY
2018/7/1	#MeTooが女と日本の未来を変える	Story(光文社)
2018/7/5	Voice 第4回 被害に遭う前に「ノー」を	大阪日日新聞
2018/8/1	痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018	公募ガイド
2018/8/1	大阪の団体が「痴漢抑止バッジ」コンテストデザイン募集開始へ	船場経済新聞
2018/8/1	【公募情報】「痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018」のデザイン募集がスタート！	登竜門ニュース
2018/8/14	被害も冤罪も起こさない 痴漢抑止バッジコン作品募集	大阪日日新聞
2018/9/14	「痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018」代表 松永弥生さん	人民新聞
2018/10/5	教員向け研修など要望 痴漢抑止活動センター	大阪日日新聞
2018/10/11	生徒の痴漢被害防止へ取り組み 府教委	大阪日日新聞
2018/11/9	「痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018」入賞12作品出そろふ 学生たちがデザインに込めた「痴漢は犯罪です」	ねとらぼ
2018/12/1	自分を、仲間を守る「痴漢抑止バッジ」	人民新聞
2018/12/3	痴漢抑止バッジデザインコンテスト2018」授賞式が12月8日に開催	登竜門
2018/12/7	痴漢抑止します バッジプロジェクト	しんぶん赤旗
2018/12/11	現役学生が考えた「痴漢抑止バッジ」 2018年の最優秀作は？	ねとらぼ
2018/12/18	「痴漢抑止」へ新バッジお披露目	東京新聞
2018/12/20	痴漢抑止バッジをデザイン 優秀賞に新垣さん	沖縄タイムス
2018/12/22	「痴漢抑止バッジ」販売始まる メトロ駅のローソン全店舗	大阪日日新聞
2018/12/27	痴漢被害抑止 バッジで意思	京都新聞
2018/12/27	痴漢 泣き寝入りしない 被害抑止に缶バッジ	高知新聞

痴漢抑止バッジ販売

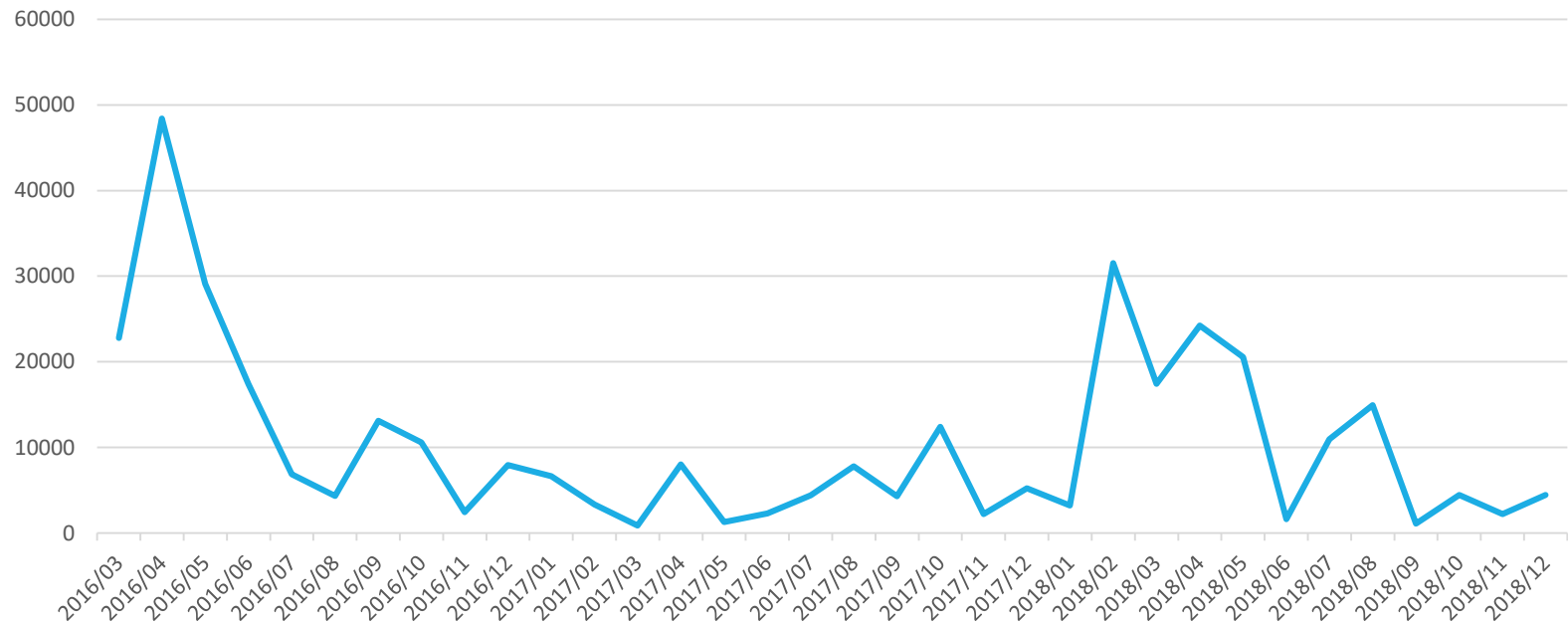
痴漢抑止バッジは、防犯グッズです。

防犯キャンペーン等の無料配布も必要ですが、一過性のキャンペーンではたまたまその場にいた方しか入手できません。

必要となった時に容易に入手できるように一般流通にのせることを目標にしています。駅売店など店頭で販売すれば、加害者の目にも触れ痴漢行為抑制の効果を期待できます。

2016年～2018年 痴漢抑止バッジ ネット販売金額

ネット売上げ



2016年3月25日よりネット通販を開始しました。

メディアに取り上げられた直後に購入数が増えるため、一概には言えませんが、痴漢犯罪が増える時期と購入者数は連動していると考えられます。

今後も、データを取っていきます。

販路拡大

OsakaMetro駅構内ローソン 41店舗



アズナス 10店舗(2018/9~11)

- アズナス十三店
- アズナス川西能勢口店
- アズナス西宮北口店
- アズナス南茨木店
- アズナス梅田3階店
- アズナス六甲店
- アズナス茶屋町口店
- アズナス阪神西梅田店
- アズナス尼崎店
- アズナスエクスプレス千里中央店



会計報告

損益計算書

売上高	バッチ売上高	395,349	568,749
	講演会売上高	59,400	
	協賛金収入	104,000	
	その他売上高	10,000	
売上原価	仕入高	50,948	82,021
	外注費	43,175	
	期末棚卸高	12,102	
【売上総利益】			486,728
販売費および 一般管理費	旅費交通費	419,414	3,808,571
	広告宣伝費	256,816	
	役員報酬	1,296,000	
	法定福利費	281,898	
	厚生費	1,194	
	教育訓練費	593,165	
	事務用消耗品費	8,206	
	通信交通費	193,781	
	租税公課	3,350	
	接待交際費	240,609	
	備品・消耗品費	43,313	
	管理諸費	391,436	
	会議費	15,728	
	雑費	63,661	
【営業利益】			-3,321,843
営業外収益	受取利息	18	3,709
	雑収入	3,691	
営業外費用	支払利息	63,917	63,917
【経常利益】			-3,382,051
	法人税及び住民税	70,001	70,001
【当期純利益】			-3,452,052

収入は、痴漢抑止バッジのネット販売、OsakaMetro駅構内ローソン、アズナス、その他への販売とコンテストなどへの協賛金である。
今後、バッジの販路を拡大するとともに、協賛金を積極的に獲得していく必要がある。

支出は、痴漢抑止バッジデザインコンテスト開催費は、大きな負担である。しかし、コンテストを継続することで活動の柱が明確となり、今後の目標や当団体のミッションを明示している。

次期(2019年度)に向けては、単年度収支を黒字化することを第一の目標とする。また、事務所の開設、スタッフ人件費の確保も必要となる。

痴漢抑止バッジは駅ナカ・駅チカ店舗での販売が適した商品である。引き続き販路拡大に努め普及に力を注ぐ。

痴漢抑止バッジデザインコンテストは10年間の継続を目指し、協賛企業を募りつつ、参加者の拡大を目指す。

また運営管理費を補うため、パートナー企業や個人の方々からの寄付を募るシステムを整えていく所存である。

プロジェクト 連絡先

【団体名】 一般社団法人痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生

【住所】〒541-0051 大阪府中央区備後町3-6-2 大雅ビル10F-242

【電話】06-7898-7808

【e-mail】 info_scb@scb.jpn.org

【HP】 <http://scb.jpn.org/>

【facebook】 <https://www.facebook.com/scbproject/>

【Twitter】 https://twitter.com/scb_info

